

競技力向上実施計画の取組状況(選手強化体制の整備)

施 策	事 業	取 組 状 況	備 考
ジュニア選手の発掘・育成・強化	○東京都ジュニア強化選手の認定・支援 新規	●強化選手の認定に関するアンケート、予備リストの提出を踏まえた競技団体との調整に基づき、競技団体に正式認定選手リストを提出させるとともに、保護者の同意を得た上で認定する。	スポーツ振興部
	○ジュニア特別強化事業 拡 充	●ジュニア選手の育成・強化を拡充 ◇実施主体：各競技団体 ◇対象選手：各競技において東京国体で活躍することが期待される小中学生・高校生 ◇事業内容：強化練習、強化合宿、強化試合等 【事業規模】 19年度：20競技団体 ⇒ 20年度：国体39競技団体 対象人数：19年度1,830人 ⇒ 平成20年度2,913人予定 20年度予算 80,000千円	東京都体育協会
	ジュニア強化事業 ○トップレベルのアスリート等による技術指導 拡 充	●トップレベルのアスリートや指導者等を、競技団体の実施するジュニア特別強化事業等へ招聘できるよう謝金を大幅に増額 【事業内容】 指導者謝金 19年度 5,000円/1人1日 ⇒ 20年度 60,000円/1人1日 招聘予定競技団体：12団体 20年度予算：4,000千円 ●19年度から、都立高等学校におけるスポーツ分野の特別推薦生徒を対象として強化練習会及び同生徒の在籍する学校へのスーパーバイザー派遣を実施	東京都体育協会 東京都スポーツ文化事業団
	○ジュニア育成地域推進事業 拡 充	●ジュニアスポーツの普及とジュニア選手の育成を推進するため、区市町村においてスポーツ振興事業を実施 ◇実施主体：地区体育協会（59地区） ◇対 象：小・中・高校生、指導者及び指導者を目指す者 ◇事業内容：普及啓発事業、発掘育成事業、指導者養成事業 【事業規模】 19年度：各地区上限 2,000千円 ⇒ 20年度：2,500千円 19年度（事業総数521、対象人数49,735、種目数321） ⇒20年度（事業総数645、対象人数51,800、種目数382）予定 20年度予算：183,700千円	東京都体育協会
	○ジュニア選手発掘の仕組みづくりの検討 新規	●他県等の実施状況を調査するとともに、ワーキンググループを設置し、ジュニア選手の発掘・育成事業のフレームを検討する。検討に当たっては、NTC・JISSと連携し、東京の強みを活かした制度設計を行い、来年度予算要求に反映させる。	スポーツ振興部
	○ジュニア期からの基本的な運動能力の習得 拡 充	●学校においては、体育・保健体育の授業の充実、運動会・体育祭や球技大会等の学校行事、運動部活動の活性化や施設開放事業などにより、子供の健康増進や体力・運動能力の向上を目指している。今後、地区体育協会や小学校体育研究会等と連携し、子どもの体力向上のための運動習慣を身につけるための施策を検討していく。	教育庁指導部
スポーツ国際交流事業	○海外都市とのジュニアスポーツ交流大会の開催 拡 充	●「東京国際ユース（U-14）サッカー大会」 【事業内容】 開催日時：4月26日（土）～28日（月） 招待都市：ベルリン、ジャカルタ、ロンドン、モスクワ、ニューサウスウェールズ、パリ、サンパウロ、ソウル （東京都選抜、FC東京むさしを加えて参加計10チーム） 会 場：味の素スタジアム、多摩市陸上競技場、稲城市中央公園総合グラウンド 20年度予算：45,000千円 ●「2008ジュニアスポーツアジア交流大会」 【事業内容】 種 目：バドミントン、柔道 開催日時：8月29日（金）～31日（日） 招待都市：バンコク、デリー、ハノイ、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、ソウル、シンガポール、台北 ウランバートル、香港、マカオ、アスタナ、ピエンチャン（東京を加え15都市） 会 場：駒沢オリンピック公園総合運動場、東京武道館 関連事業：指導者フォーラム、ジュニア選手・指導者の研修会、文化交流 20年度予算：185,000千円	スポーツ振興部

競技力向上実施計画の取組状況(選手強化体制の整備)

施 策	事 業	取 組 状 況	備 考																									
ジュニア選手の発掘・育成・強化 国際大会観戦	○国際レベルの大会・試合観戦にジュニアを招待 新 規	●「東京都ジュニア強化選手」の認定を契機として、当該選手に当該競技のみならず他の競技についても、都内で開催される国際大会や全日本レベルの大会への観戦機会を提供していく。具体的な実施方法については、競技団体と調整していく。	スポーツ振興部																									
競技別一貫指導プログラムの整備	○競技者育成プログラムの策定と普及 新 規	●JISS及びNTCの協力のもとに、各競技の指導者を対象として一貫指導システムの基本的な考え方や先進的な競技の事例紹介等の研修を実施し、競技者育成プログラムの策定を促進 【事業内容】 開催予定：11月22日、1月17日、2月28日の3回 研修内容：スポーツ振興計画と国際競争力の総合的な向上策、競技者育成プログラム作成の意義と趣旨、事例紹介 等 20年度予算：1,041千円	スポーツ振興部																									
運動部活動の活性化	○強化校の指定 新 規	●21年度の「強化校の指定」に向けて、競技団体に指定候補校アンケートを実施した。今後、各競技団体や東京私立中学高等学校協会等と調整を図り、指定校制度の内容を策定し、来年度予算要求に反映する。	スポーツ振興部																									
	○学校体育連盟が開催する強化練習等への支援 新 規	●東京都中学校体育連盟の競技専門部が実施している強化練習会に対し運営経費等の補助を開始 【20年度予算：10,000千円】 ●スポーツ特別推薦を受けた8種目11競技の高校生に対して、強化練習会を実施している。来年度からは、東京都高等学校体育連盟が実施する事業として予算要求を行う。 【20年度予算：23,122千円】	教育庁指導部																									
	○競技人口が少ない運動部活動の設置 拡 充	●部活動設置数の少ない競技について、都立高校を対象に強化部活動候補校を指定し、競技力向上に取り組んでいる。 【強化部活動候補校】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">種 目</th> <th style="width: 50%;">学 校 名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボート</td> <td>墨田川、本所、小松川</td> </tr> <tr> <td>自転車競技</td> <td>八王子桑志</td> </tr> <tr> <td>カヌー</td> <td>青梅総合</td> </tr> <tr> <td>セーリング</td> <td>大島海洋国際</td> </tr> <tr> <td>馬術</td> <td>農芸</td> </tr> </tbody> </table>	種 目	学 校 名	ボート	墨田川、本所、小松川	自転車競技	八王子桑志	カヌー	青梅総合	セーリング	大島海洋国際	馬術	農芸	教育庁指導部													
種 目	学 校 名																											
ボート	墨田川、本所、小松川																											
自転車競技	八王子桑志																											
カヌー	青梅総合																											
セーリング	大島海洋国際																											
馬術	農芸																											
国体候補選手強化事業	○国体候補選手強化事業 拡 充	●国体選手、国体候補選手の強化練習等を拡充するため予算を増額 ◇実施主体：各競技団体 ◇対象選手：国体選手、国体候補選手 ◇事業内容：強化練習、強化合宿、強化試合等 【事業規模】 国体40競技団体 19年度予算：68,588千円 ⇒ 20年度予算：78,958千円	東京都体育協会																									
練習環境の整備	○練習拠点の確保 新 規	●スポーツ施設や企業、大学等と競技団体との間を取り持ち、競技力強化の練習拠点の確保を進めている。また、都立高校の学校開放などでも、積極的に練習場所を確保していく。 【練習場所の確保状況】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">種 目</th> <th style="width: 33%;">施設名</th> <th style="width: 33%;">状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホッケー</td> <td>日野市浅川多目的グラウンド、日野市民陸上競技場</td> <td>確保済み</td> </tr> <tr> <td>なぎなた</td> <td rowspan="2">東京都調布庁舎体育館(味の素スタジアム)</td> <td rowspan="2">"</td> </tr> <tr> <td>バレーボール</td> </tr> <tr> <td>ウエイトリフティング</td> <td>都立総合工科高等学校体育館</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>ハンドボール</td> <td>都立つばさ総合高等学校</td> <td>確保見込</td> </tr> <tr> <td>陸上競技</td> <td>町田市立室内プール</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>水泳競技</td> <td>東芝府中ラグビー場</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>ラグビー</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 目	施設名	状 況	ホッケー	日野市浅川多目的グラウンド、日野市民陸上競技場	確保済み	なぎなた	東京都調布庁舎体育館(味の素スタジアム)	"	バレーボール	ウエイトリフティング	都立総合工科高等学校体育館	"	ハンドボール	都立つばさ総合高等学校	確保見込	陸上競技	町田市立室内プール	"	水泳競技	東芝府中ラグビー場	"	ラグビー			スポーツ振興部
	種 目	施設名	状 況																									
ホッケー	日野市浅川多目的グラウンド、日野市民陸上競技場	確保済み																										
なぎなた	東京都調布庁舎体育館(味の素スタジアム)	"																										
バレーボール																												
ウエイトリフティング	都立総合工科高等学校体育館	"																										
ハンドボール	都立つばさ総合高等学校	確保見込																										
陸上競技	町田市立室内プール	"																										
水泳競技	東芝府中ラグビー場	"																										
ラグビー																												
	○選手強化用備品の整備 新 規	●対象競技、備品の選定基準等について来年度予算要求に向けて調整中	スポーツ振興部																									

競技力向上実施計画の取組状況(指導者の育成・確保)

施 策	事 業	取 組 状 況	備 考
指導力を有する人材の確保	○指導者人材データの収集・提供・派遣 新 規	<ul style="list-style-type: none"> ●関係団体にトレーナー及び栄養士について人材の推薦依頼を行うとともに、競技団体への事業説明を行い、人材登録を進めている。9月から派遣先のニーズを踏まえ、順次派遣を開始する。 【20年度予算：4,000千円】 ●部活動に指導力を有する公立学校教員について、人材データの集積を進め、その状況を踏まえ異動の際に考慮する。 	東京都スポーツ文化事業団 教育庁人事部
	○部活動担当の育成 継 続	<ul style="list-style-type: none"> ●競技人口が少なく指導者がいない競技種目の顧問教諭を育成するため、10種目（ソフトボール、自転車、弓道、なぎなた、相撲、アーチェリー、ボート、カヌー、セーリング、クライミング）の指導者養成講習会を実施 【20年度予算：14,550千円】 	教育庁指導部
指導環境の整備	○国体選手強化指導員の認定 新 規	<ul style="list-style-type: none"> ●「国体選手強化指導員」の認定基準を定め、競技団体が提出した指導者候補者リストをもとに、競技団体と調整し、8月から本人、所属長等に認定通知、協力依頼通知を行っている。 ●国体候補選手強化に係わる教員が東京都強化指導員と認定された場合のサービスの取り扱いについては、職免が取得できるよう規程の整備を行った。 	スポーツ振興部 教育庁人事部
指導者の資質向上	○指導者研修の充実、ジュニア指導者育成 新 規	<ul style="list-style-type: none"> ●成年、少年の現場スタッフ（監督・コーチ）を対象にした講習会を計8回実施する。このほかに、ジュニア認定選手の保護者向け講習会を開催する予定 【講習内容】 コンディショニングと疲労 スポーツ選手の食事 発達発育に応じたトレーニング メンタルトレーニング 等 【20年度予算：2,000千円】 	東京都スポーツ文化事業団

競技力向上実施計画の取組状況(医・科学サポート)

施策		事業	取組状況	備考
スポーツドクター や医・科学スタッフとの連携	健康管理	○国体候補選手のメディカルチェックの充実 拡 充	●国民体育大会本大会の参加選手に加え、本年度より関東ブロック大会の参加選手を対象を拡大するとともに、時期を前倒しして健康調査票によるチェックを実施 【事業規模】 ※20年7月末日現在、490名の関東ブロック大会参加選手の健康調査票チェックが終了	東京都体育協会
	スポーツ医・科学スタッフの人材情報の提供と派遣	○スポーツ医・科学スタッフの派遣・助言を受けられる仕組みづくり 新 規 拡 充	●関係団体にトレーナー及び栄養士について人材の推薦依頼を行うとともに、競技団体への事業説明を行い、人材登録を進めている。9月から派遣先のニーズを踏まえ、順次派遣を開始する。【再掲】 ●東京都医師会等と連携を図り、スポーツ特別推薦制度を実施している都立高に対してスポーツドクターを派遣し、怪我の防止、故障に対する対応、効果的な運動処方などの講習を実施している。 【事業内容】 スーパーバイザー（スポーツドクター、スポーツトレーナー、スポーツ栄養）派遣 ⇒19年度 45校に対して各分野最低1回ずつ、年間5回まで派遣 ⇒20年度 58校に対して各分野最低1回ずつ、年間5回まで派遣 20年度予算：14,941千円	東京都スポーツ文化事業団
スポーツ医・科学機能の整備と連携		○国体選手等の体力測定と助言 新 規	●大学との連携構築のためのワーキンググループを3回開催し、来年度の事業計画案の取りまとめを行った。今後、種目別サポートの具体的な内容を詰めるため、モデル種目の指導者とサポートを行う大学の調整を進める。	スポーツ振興部 東京都スポーツ文化事業団
		○大学等と連携した測定や助言 新 規		
ドーピング防止啓発		○ジュニア選手・指導者・保護者を対象としたドーピング防止啓発 拡 充	●東京都競技力向上事業（ジュニア特別強化事業）において、「ドーピング防止についての研修」を必須内容として位置づけ、競技団体のジュニア選手強化合宿などで実施する。 【事業規模】 20年7月末日現在、38競技種目で実施を計画 【事業実績】 「ジュニア選手に対するドーピング防止研修会」7月16日於東京体育館、指導者を中心に参加者54人】	東京都体育協会